

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年12月17日(2009.12.17)

【公表番号】特表2009-514925(P2009-514925A)

【公表日】平成21年4月9日(2009.4.9)

【年通号数】公開・登録公報2009-014

【出願番号】特願2008-539395(P2008-539395)

【国際特許分類】

C 0 7 C	49/825	(2006.01)
C 0 7 C	49/84	(2006.01)
C 0 9 K	3/00	(2006.01)
C 0 7 D	249/20	(2006.01)
C 0 7 D	209/48	(2006.01)
A 6 1 K	8/02	(2006.01)
A 6 1 K	8/35	(2006.01)
A 6 1 Q	13/00	(2006.01)
A 6 1 Q	5/02	(2006.01)
A 6 1 Q	5/12	(2006.01)
A 6 1 Q	5/06	(2006.01)
A 6 1 Q	19/10	(2006.01)
A 6 1 Q	15/00	(2006.01)
C 0 7 C	49/86	(2006.01)
A 6 1 K	8/34	(2006.01)
A 6 1 K	8/49	(2006.01)

【F I】

C 0 7 C	49/825	C S P
C 0 7 C	49/84	E
C 0 9 K	3/00	U
C 0 7 D	249/20	5 0 3
C 0 7 D	209/48	Z
A 6 1 K	8/02	
A 6 1 K	8/35	
A 6 1 Q	13/00	1 0 2
A 6 1 Q	5/02	
A 6 1 Q	5/12	
A 6 1 Q	5/06	
A 6 1 Q	19/10	
A 6 1 Q	15/00	
C 0 7 C	49/86	
A 6 1 K	8/34	
A 6 1 K	8/49	

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月26日(2009.10.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

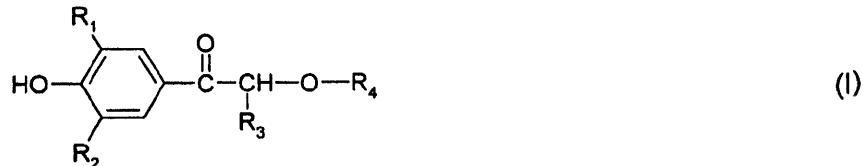
【補正の内容】

## 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

式 (I)

## 【化 1】



(式中、

$R_1$  及び  $R_2$  は、各々、互いに独立して、炭素原子数 1 ないし 10 のアルキル基又は炭素原子数 3 ないし 8 のシクロアルキル基を表わし、

$R_3$  は、水素原子又は炭素原子数 1 ないし 4 のアルキル基を表わし、及び、

光化学的に開裂される基  $R_4OH$  は、香料、UV 吸収剤、抗菌剤、防曇剤及び透明剤からなる群から選択されるが、

但し、 $R_1$  及び  $R_2$  が第三ブチル基を表わし、かつ  $R_3$  が水素原子を表わす場合、 $R_4$  はメチル基又はフェニル基を表わさない。) で表わされる光潜在性化合物。

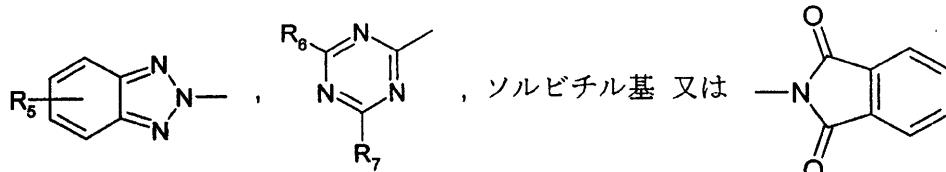
## 【請求項 2】

$R_1$  及び  $R_2$  が、各々、互いに独立して、炭素原子数 1 ないし 10 のアルキル基又は炭素原子数 3 ないし 8 のシクロアルキル基を表わし、

$R_3$  が、水素原子又は炭素原子数 1 ないし 4 のアルキル基を表わし、

$R_4$  が、未置換の炭素原子数 1 ないし 25 のアルキル基、炭素原子数 3 ないし 25 のアルケニル基、炭素原子数 3 ないし 25 のアルキニル基、炭素原子数 6 ないし 10 のアリール基、炭素原子数 3 ないし 12 のシクロアルキル基又は炭素原子数 3 ないし 12 のシクロアルケニル基；又は、炭素原子数 1 ないし 18 のアルキル基、炭素原子数 2 ないし 18 のアルケニル基、炭素原子数 3 ないし 18 のアルキニル基、炭素原子数 3 ないし 12 のシクロアルキル基、炭素原子数 1 ないし 18 のアルコキシ基、ヒドロキシル基、炭素原子数 2 ないし 18 のアルコキカルボニル基、ホルミル基、炭素原子数 1 ないし 18 のアルキルチオ基、炭素原子数 1 ないし 18 のアルキルスルフィニル基、炭素原子数 1 ないし 18 のアルキルスルホニル基、ハロゲン原子、カルボキシ基、炭素原子数 2 ないし 18 のカルボキシアルキル基、炭素原子数 2 ないし 18 のカルボキシアルコキシ基、炭素原子数 3 ないし 18 のアルコキカルボニルアルキル基、炭素原子数 3 ないし 18 のアルコキカルボニルアルコキシ基、炭素原子数 7 ないし 9 のフェニルアルキル基、フェノキシ基、ハロゲン原子で置換されたフェノキシ基、

## 【化 2】



で置換された炭素原子数 1 ないし 25 のアルキル基、炭素原子数 3 ないし 25 のアルケニル基、炭素原子数 3 ないし 25 のアルキニル基、炭素原子数 6 ないし 10 のアリール基、炭素原子数 3 ないし 12 のシクロアルキル基及び炭素原子数 3 ないし 12 のシクロアルケニル基を表わし、

$R_5$  が、水素原子、炭素原子数 1 ないし 4 のアルキル基又はハロゲン原子を表わし、及び

$R_6$  及び  $R_7$  が、各々、互いに独立して、フェニル基又は炭素原子数 1 ないし 4 のアルキル基で置換されたフェニル基を表わすが、

但し、 $R_1$  及び  $R_2$  が第三ブチル基を表わし、かつ  $R_3$  が水素原子を表わす場合、 $R_4$  はメチル基又はフェニル基を表わさないところの、請求項 1 に記載の光潜在性化合物。

**【請求項3】**

a) 工業材料、及び

b) 請求項1に記載の式(I)で表わされる光潜在性化合物の少なくとも1種を含む組成物。

**【請求項4】**

成分(a)が、溶媒、ワックス、フィルム形成バインダー、塗料、コーティング、天然又は合成ポリマー、纖維、紙、洗浄剤、研磨剤、柔軟剤、シャンプー、ヘアコンディショナー、ヘアスプレー、石鹼、バス又はシャワージェル又はボディデオドラントである請求項3に記載の組成物。

**【請求項5】**

成分(a)及び(b)に加えて、更に、更なる添加剤を含む請求項3に記載の組成物。

**【請求項6】**

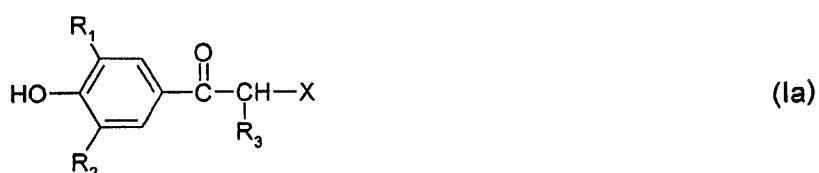
更なる添加剤として、フェノール系抗酸化剤、光安定剤及び/又は加工安定剤を含む請求項5に記載の組成物。

**【請求項7】**

請求項1に記載の式(I)で表わされる光潜在性化合物を光で照射することを含む、香料、UV吸収剤、抗菌剤、防曇剤及び透明剤を放出するための方法。

**【請求項8】**

式(Ia)

**【化3】**

(式中、

R<sub>1</sub>及びR<sub>2</sub>は、各々、互いに独立して、炭素原子数1ないし10のアルキル基又は炭素原子数3ないし8のシクロアルキル基を表わし、

R<sub>3</sub>は、水素原子又は炭素原子数1ないし4のアルキル基を表わし、及び、

Xは、塩素原子、臭素原子又はヨウ素原子を表わすが、

但し、Xが塩素原子を表わす場合、R<sub>1</sub>はイソ-プロピル基、第二ブチル基又はシクロヘキシル基を表わし、かつR<sub>2</sub>はシクロヘキシル基を表わし、

また、Xが臭素原子を表わす場合、R<sub>1</sub>及びR<sub>2</sub>はシクロヘキシル基を表わす。)で表わされる化合物。